



木村格(いたる)会長の開会挨拶

医療福祉分野に大きく貢献されたお二人をお招きし、それぞれの歩みとこれからの展望について貴重なお話をいただきました。

お一人は名古屋大学、愛知医科大学名誉教授の祖父江逸郎先生です。先生には特別講演「難病対策の経緯と現状、これからの新しい展開」と題しお話いただきました。そしてもうお一人、患者運動を牽引し、日本の社会保障史上に残る「朝日訴訟」を支援団体の事務局

として支え、また日本の患者運動の発展に寄与された長宏さんの奥様であり、日本福祉大学名誉教授でもある児島美都子先生もご参加いただき、二日目にご挨拶をいただきました。

また、大分県難病相談・支援センターが待望のスタート！全都道府県に難病センターが設置されたといううれしい報告もこの記念の大会に花を添えました。

大会二日間の主な発表テーマは「難病センターの取組み」、「全疾病団体の活動」、「難病のある人への就労支援」、「ピアカウンセリング」などでした。第十回研究大会(愛知)は開催地である愛知県、名古屋、厚生労働省、厚生労働科学研究費補助金難病疾患克服研究事業「重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究班(糸山班)」ならびに「特定疾患の自立支援対策の確立に関する研究班」(今井

二〇〇八年三月十五日、十六日、愛知県名古屋市の愛知県医師会館にて全国難病センター研究会(会長 木村格(いたる))第一〇回研究大会(愛知)を開催いたしました。難病支援ネットワーク北海道と北海道難病連が共同事務局となりました。

〇三年にスタートした研究大

会も年二回の開催を重ね、このたび一〇回目を迎えました。節目の大会にふさわしく、難病相談・支援センター(以下、難病センター)の相談員をはじめ二〇〇名を越す参加で事前に用意していた座席も足りなくなるほどの盛況でした。

また、大分県難病相談・支援センターが待望のスタート！全都道府県に難病センターが設置されたといううれしい報告もこの記念の大会に花を添えました。

大会二日間の主な発表テーマは「難病センターの取組み」、「全疾病団体の活動」、「難病のある人への就労支援」、「ピアカウンセリング」などでした。第十回研究大会(愛知)は開催地である愛知県、名古屋、厚生労働省、厚生労働科学研究費補助金難病疾患克服研究事業「重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究班(糸山班)」ならびに「特定疾患の自立支援対策の確立に関する研究班」(今井

全国難病センター研究会 第一〇回研究大会愛知で開催 二〇〇〇名を越す参加

班)より後援をいただいております。また愛知県医師会には会場のご提供と事前準備や運営のお手伝いなど幅広くご協力いただきました。この場をお借りして関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

研究会総会を〇八年十二月三日に国会議員会館(東京)において開催。第一〇回研究大会は、〇九年三月二十日、二十一日に沖縄県にて開催が決まりました。北海道難病連、日本難病・疾病団体協議会(JPA)のホームページで情報を掲載いたします。みなさまのご参加をお待ちしております。

■全国難病センター研究会第10回研究大会参加者内訳

機 関 種 別	機関・団体数	人 数
難病相談・支援センター	24機関	47
地 域 難 病 連	12団体	44
疾 病 団 体	14団体	45
医 療 関 係 機 関	15機関	29
行 政 関 係	12機関	18
企 業	5機関	7
そ の 他	8団体	18
計		208